



# 日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 140

平成20年4月25日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

## 平成20年度診療報酬改定「Q & A」

### 【初・再診料】

- Q 例えば午後6時前に受付をすませた患者を6時以降に診察した場合、夜間・早朝等加算を算定出来るか
- A 午後6時以降に受付を行った患者が対象となるものであり、算定出来ない。従って受付の時間によって算定する患者と算定しない患者が混在する可能性がある。その旨掲示されていることが望ましい。
- Q 午後8時までを表示時間としていて、午後8時以降も受診者が続いた場合に夜間・早朝等加算を算定するのか
- A 午後8時をまたいで診療を継続した場合は、そのような診療態勢が常態ではなくても算定する。なお診療応需の態勢を解いた後においてやむを得ない事由により診療を行った場合は時間外加算等を算定する。

### 【外来管理加算】

- Q 今回簡単な耳垢除去など基本診療料に含まれ別途処置料を算定出来なくなったことに伴い、これらの処置を行った場合でも要件を満たせば外来管理加算を算定できると考えて良いか
- A 外来管理加算を算定する要件をみたしているものについては算定出来る。なお、医師が直接これらの処置を行った時間または説明を行った時間については「直接診察を行っている」時間に該当する。
- Q 電話再診や遠隔医療を行った場合も外来管理加算は算定できるか
- A 「医師による直接の診察」に該当しないため出来ない。
- Q 後期高齢者診療料は検査や処置が包括されているが、外来管理加算は併算定出来るか
- A 検査や処置を実施しても算定できる。厚労省3月28日付「関連通知の一部訂正」通知を確認のこと。

### 【処方箋様式】

- Q 処方箋に記載した先発医薬品の一部についてのみ後発医薬品への変更に差し支えがあると判断した場合の記載方法は
- A 処方箋の「後発医薬品への変更不可」欄には署名または記名押印を行わず、該当する先発医薬品の銘柄名の近傍に「変更不可」と記載するかまたは銘柄名の頭に「\*」と記載した上で、「処方」欄の余白に注意書きとして「\*を付した医薬品は、変更不可」と記載するなど、いずれにしても明確にわかるように記載すること。
- Q 先発と後発で適応症が異なる医薬品が存在するが、医療機関としてはどのように対応すればよいか
- A 薬局では処方箋に記載された情報しか知り得ないことから、先発医薬品を後発医薬品が有しない効能に対する目的で使用する場合には「変更不可」と記載するなどの方法で、変更を禁ずる指示が必要である。日本薬剤師会でも、処方箋に「変更不可」の指示がなかったとしても調剤に当たって疑義が生じた場合は処方医に対して照会するよう指導している。
- Q 処方した先発医薬品が患者の希望で後発医薬品に変えられた場合、それが、たまたまその疾患に適応がなく査定された場合、それは医療機関の責任か。調剤薬局の責任になるのか
- A 「適応外」として査定された場合、医療機関側の責任になる。このことについては、厚労省、日医、日本薬剤師会の間で事前に連絡調整が行われていると

のこと。基本的には、薬局側での後発品への変更の際には、医療機関への連絡を実施することとなっており、その際に適応がなくなることについても確認ができるとの認識。

### 【外来迅速検体検査加算】

- Q 算定には、当日実施した、別に厚生労働大臣が定める検体検査の全てについて、検査実施日のうちに患者に対して文書により情報提供が必要があるか
- A その通り。定める検体検査のうち1つでも検査実施日のうちに患者に対して文書による情報提供が行われなかったものがある場合には、実施したすべての検体検査において算定できない。
- 以上日医および厚労省保険局などのQ & Aより

先発医薬品と効能・効果等に違いがある後発品の有効成分リスト ( )は先発品販売名

\* プラシカスト水和物(オノン) \* アモキシシリン \* クラリスロマイシン \* アルプロスタジル \* イオパミドール \* イトラコナゾール \* ウルソデオキシコール酸 \* オメプラゾール \* カルベジロール \* 塩酸クレンブテロール \* シクロスポリン \* バンコマイシン塩酸塩、など17成分

## 鳥取FORUM 2008 in 米子

明日役立知識をもって帰ろう

会場：米子全日空ホテル

プログラム

- 分科会 9月14日(日) 14:00~18:30
- I-1 摂食・嚥下障害のリハ・ケアの最前線
  - I-2 耳鼻科外来で診断する表在癌
  - I-3 耳鼻科医に必要な胃食道逆流症の基礎知識
  - II-1 日常診療における救急疾患のピットホール
  - II-2 耳鼻科診療所におけるデータファイリング
  - II-3 めまいに対する漢方の考え方
  - III-1 小児急性中耳炎の治療戦略
  - III-2 慢性咳嗽～上気道と下気道の接点と治療的診断
  - III-3 アレルギー性鼻炎のオフィスサージャリー
- 全体集会 9月15日(月・祝日) 9:00~12:30
1. これからの耳鼻咽喉科診療を考える
  2. 日常臨床におけるめまい診療
  3. - 公開講座 - 笑う顔には福来る
- 懇親会 9月14日(日) 19:00~21:00
- 観光エクスカーション 9月14日(日) 10:00~14:00





プロスタグランジンD<sub>2</sub>・トロンボキサンA<sub>2</sub>受容体拮抗剤  
アレルギー性鼻炎治療剤

**バイナス** 錠 50mg / 錠 75mg

コマトロバノ製剤

Baynas® 薬価基準収載

指定医薬品、処方せん医薬品(注: 医師等の処方せんにより使用すること)  
効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

※本剤の小児等に対する安全性は確立していません。  
【使用経験が少なく】

販売(資料請求先: 学術部) 製造販売元  
日本新薬株式会社 バイエル薬品株式会社  
京都市南区吉野院西ノ庄門口14 大阪府淀川区宮原3-5-36

(2006年7月作成)